

第46回 中学生の「税についての作文」

納税貯蓄組合と国税庁は、(財)日本税務協会、(財)大蔵財務協会及び日本税理士会連合会の後援を得て、毎年中学生のみさんから「税についての作文」を募集しています。

本年度もたくさんの方の応募があり、日田玖珠管内では8校、448編の応募がありました。優秀作品4編を紹介いたします。

応募頂いた中学校

日田市立東部中学校
日田市立南部中学校
日田市立三隈中学校
日田市立北部中学校
日田市立東溪中学校
日田市立前津江中学校
日田市立大山中学校
玖珠町立日出生中学校

入賞者紹介 (敬称略)

南九州地区納税貯蓄組合連合会
会長賞
三隈中学校 3年 河野 美月
南九州地区納税貯蓄組合連合会
優秀賞

南部中学校 3年 木下 夏希
日田税務署長賞
三隈中学校 3年 宮永 彩香
北部中学校 3年 佐藤 宏亮
日田玖珠納税貯蓄組合連合会 会長賞
三隈中学校 3年 高松 蓮美

三隈中学校 3年 石塚 萌
三隈中学校 3年 菅原 和希
三隈中学校 3年 牛平 多瑛
日田玖珠地区税務連絡協議会 会長賞

東溪中学校 3年 小関 真綺
前津江中学校 3年 梶原 旭
東部中学校 3年 松木 茜
大山中学校 3年 平嶋 瑠唯
日出生中学校 3年 高倉 智宏

南九州地区納税貯蓄組合連合会 会長賞

『公務を支える税金』
三隈中学校 3年 河野 美月

「公務員」。世間一般的には、常に収入が安定している職業というイメージが強いだろう。学校の授業で親の職業に関して発表すると、周りからは、「いいな。公務員って、収入が安定しているでしょ？」などの声が聞こえてきて、私自身、公務員

は、収入は安定しているから、「楽な仕事」というイメージができた。

私の父は、市役所で働いており、

公務員だ。私はその職業がどのような仕事をするのか、何に役立っている仕事をしているのかなど、まったく知らなかった。

しかし、私はあることがきっかけで、「公務員」という職業に対する考え方やイメージが変わった。九州北部豪雨。今年の七月、九州北部地域に大きな被害をもたらした。私の住んでいる日田市もひどい被害を受け、被災地のひとつである。ニュースを見ていると、悲惨な町の状況が目につく。学校からも、外には出るな、と固く言われていた。

その中、私の父は仕事だと言って深夜一時過ぎた頃に家を出ていった。外は危ない状況だし、なぜ父が出ていくのだろうと思っていた。翌日も、父と顔を合わせることはなく、一週間近くは、帰りの遅い日々が続いた。私の家は、被害の大きかった花月川沿いにあり、二度目の集中豪雨でも氾濫寸前であったが、父は休日にも関わらず、家に帰ることなく仕事を続けていた。自分の家が危険な状況であるのに、家に帰らなかった父に疑問を感じた。

その後、ようやく雨も落ち着き、

父と夕食を共にできるようになったので、私が感じた疑問を投げかけてみた。

父の部署では、今度の大雨で多くの堤防や道路が壊れたため、まず住民の安全を守るために少しでも早く復旧工事をする仕事を担当していた。

今回は大きな災害が起こったので特別なだろうと思ったが、父によると住民が安全に安心して、普通に生活できるようにするのが公務員の仕事なのだそうだった。

一般の仕事のように利益は上がらないけれども、やらなくてはならない必要な仕事が公務員なのだ。警察や消防など分かりやすい公務もあるけれど、普段、私たちが気にもとめない公務もある。通学などで利用する道路を設計すること、学校で勉強を教えることがそうだった。

そして、その仕事を支えるために、みんなが「税金」という形でお金を出し合って成り立っているのが、社会の仕組みだということを、今回のことで身をもって気付くことができた。

夜中に平然と出勤する父を見て、公務員の仕事の大変さや責任の重さとなくてはならない公務を支えている税金の存在を、多くの人に知ってほしいと願う。

南九州地区納税貯蓄組合連合会 優秀賞

『税金の使われ方について』

南部中学校 3年 木下 夏希

七月三日、十四日に私の住んでいる地域では、とても激しい雨が降りました。九州北部豪雨です。

私は、耶馬溪町の祖父と祖母の家の被害が大きいと聞いたので、片付けの手伝いに行きました。

行く途中、車から見える景色はいつもと違っていました。どこから流れてきたのかわからない大木が道端にあたり、家がこわれているところもありました。

着くと、朝から一生懸命に家の中の泥出しをしている人がたくさんいました。床下や裏庭に大量の泥や木くずが流れていたのです、それを運んだり、スコップですくったりする作業をくり返しました。一緒に作業をしてくれた人の中にはボランティアの方もたくさんいました。

また、マスコミの取材や国会議員の人も視察に来ていて、「お疲れ様です。」と声をかけていました。

祖父と祖母の家の前には川があつて、すぐ近くにかかっていた橋は欄干がくずれてしまっています。水害から一ヶ月以上たった今でも橋はそ

のままの状態です。

こわれた橋や道路を直すのにはとても多くのお金が必要で、私は、税金についての勉強をして、その一部に災害復旧費というかたちで税金が使われていることがわかりました。元の耶馬溪の美しい景色がもどるためには、私たちが日ごろ払っている税金が使われるということを実感しました。

去年、東日本大震災が起こりました。とても大きな被害で、復旧などにたくさん税金が使われています。よく、テレビなどで税金の使い方について文句を言う人がいます。

しかし、復旧のために税金を使うことにはだれも文句を言いません。これは、私たち国民が払っている税金の使い方に対して、納得しているからだと思います。

税金は私たちの暮らしをより豊かにするためのものだと思います。警察費、消防費など安全な生活、命を守ることに使われています。今、安心して暮らせるのも税のおかげです。

だから、国民が納得するような税金の使い方をすれば、税金を納めない人も減り、税金のことに関心を持つ人も増えると思います。

日田税務署長賞

『税』のおかげで

『できること』

三隈中学校 3年 宮永 彩香

今年、今までにない水害が日田市で起こりました。大雨で近くの川が氾濫し、あつという間に家々が流されたり、床上や床下浸水、さらに、道路や鉄道の橋げたも水で壊され、通行できなくなりました。その時、私はまさか自分の住んでいる町がこのような状態になるとは思ってもみませんでした。去年の東北大震災では、テレビや新聞で避難所の生活や町の復興の様子が写し出されていましたが、私にとってはどこか遠いところでおこったことと、心の中でとらえていたみたいでした。でも、自分の町が実際そのような状態になった時、初めて本当にどうやって立ち直っていったらいいのか考えさせられました。

立ち直るために必要なものは、人々の協力やボランティア、心の支えではないかと思っています。壊れたものを「再建」するため、「税金」は大なる要素となります。

例えば、集めた税金の中から「公共事業関係費」や「地方交付税交付金」を利用して、災害費用を出すこ

とが復興につながると思います。また、たくさんの方が復興のために活動しています。夜、川の近くの道路を通ると明るくスポットライトを照らしながら、たくさんの方が壊れた堤防などを一生懸命修理していました。その費用も、税によって支えられているからこそできることです。今度の水害は、町が復興するためにまだまだ長い時間とたくさんの方がかかるのではないかと思います。これも税によって少しずつ解決していけたらと期待しています。

私は、今まで「税」は「消費税」のように品物を買う時に、納めるものと思ってきましたが、「税」の学習を通して、災害などの困った時、苦しい時に助けてくれる大事なものだとなりました。日本に今後、予想を超えた自然災害などが発生しても、その時に、人々の前向きな心と「税」による支えで復興できると信じています。私はそれを忘れずに、将来私とみんなの幸せのためにきちんと納税を履行したいと思います。



日田税務署長賞

『幸せな社会を築く税』

北部中学校 3年 佐藤 宏亮

「消費税が増税されるかもしれない」「このニュースを聞いた時、「消費税が上がってもあまり影響はないだろう」と思っていました。少し気になったので、実際に増税されるとどうなるのか母に聞いてみました。」

「消費税が五パーセントから十パーセントに増税されるということは、家計の消費税に対する割合が二倍になるといいうこと。」と言われました。この時は税金の使い方について僕自身あまり知らなかったので、「消費税増税」に正直反対でした。

そんな時に僕が住んでいる日田市も含めて九州北部を大雨が襲いました。僕の家には被害は無かったけれど、僕の通う学校の校舎は様々な被害を受けました。一階は床上浸水し、机や椅子の一部も浸水してしまいました。

その後、先生方、地域の方々、ボランティアの方々などの作業の甲斐あって、六日後にようやく授業を再開することができました。

少し経ってから、教育に関する税

金の使い道について調べてみました。すると、平成二十四年度の国の一般会計歳出額のうち、六パーセントが教育や科学技術を盛んにするための文教及び科学振興費で、その額は五兆四千五百七十七億円でした。中学生一人あたりには九十七万九千円ものお金がかかっています。

僕達の教育のためにこれほどの税金が使われていることには驚きました。学校の物や設備は税金でまかなわれていたのだと知りました。税金が無いと僕達は、きちんとした教育を受けられないんだあと改めて実感しました。

この大雨の経験を通して「消費税増税反対」という姿勢が少し変わりました。税を納めることで今回のように社会の役に立てるのなら増税してもいいのかなあと思いました。でも完全に賛成ではありません。所得の低い人の負担が増えるということについては、政府も考えてほしいと思います。このような問題が解決されたのならば心から賛成したいと思います。

僕達が使う教科書にはこう書いています。「この教科書は、これからの日本を担う皆さんへの期待をこめ、税金によって無償で支給されています。

税金によって無償で支給されています。

す。大切に使いましょう。」最初の文章の意味が分かりませんでした。次第に、これからの日本を担っていくのは僕達なんだあと思うようになりしました。税金を納めている人達の期待に応えなければならぬと感じました。その期待に応えるためにも、たくさん勉強し、将来僕達自身が次の世代のためにも税金を納めなければならぬと思いました。

僕はまだ、消費税ぐらいしか納めていないけど、将来僕が仕事に就いて、様々な税を納めなければならなくなつても、快く納め、幸せな社会を築いていく一員になりたいです。



平成24年度納税表彰受賞者

☆熊本国税局長表彰

角 弘 起 氏

(株)想夫恋・日田玖珠法人会会長



☆日田税務署長表彰

佐 竹 享 氏

(有)スプリングの佐竹
・日田玖珠法人会副会長



☆日田税務署長表彰

井 上 睦 子 氏

(株)井上酒造
・日田玖珠法人会女性部会長





イタタキ

さらに便利で使いやすく!
ネットでどこでも申告・納税。

e-Tax

国税電子申告・納税システム



はじめでみませんか? ネットで **申告・納税**

POINT



e-Taxでは、自宅やオフィス、税理士事務所などからインターネットを利用して、申告、申請・届出等ができます。

- 法人税、消費税、所得税、酒税及び印紙税の申告ができます（確定申告のほか、中間申告、予定申告を含みます）。
- 法定調書の提出や納税証明書の交付請求のほか、各種申請・届出の提出などができます。

POINT



インターネットバンキングやATM等を利用して納税ができます。

- 税務署や金融機関に出向くことなく、自宅やオフィスなどから納税できます。特に利用回数の多い手続に便利です（源泉所得税の毎月納付手続など）。

（※）事前に税務署へ届出等をしておけば、e-Taxを利用して電子申告等をした後に、届出をした預貯金口座からの振替により、簡単なクリック操作で即時又は期日を指定して納付することができる新たな電子納税である「ダイレクト納付」の利用も可能となりました（ダイレクト納付の利用に際しては、インターネットバンキング等の契約は必要ありません）。

POINT



e-Taxを利用すると・・・

- e-Taxで申告された還付申告は早期処理しています（3週間程度に短縮）。
- e-Taxで納税証明書の交付請求を行うと手数料が安価です（証明書は電子ファイルでの発行のほか、書面での発行も請求できます）。

■ e-Taxのご利用時間 ■

月曜日 から 金曜日 午前8時30分 から 午後9時（祝日等を除きます）

※ご利用時間については、メンテナンス作業等により変更する場合がありますので、事前にe-Taxホームページでご確認ください。